

病院長名	後藤 百万
所在地	〒457-8510 愛知県名古屋市中区三条一丁目1番10号
交通案内	名鉄「神宮前駅」、地下鉄「伝馬町」、JR 東海「東海道本線 熱田駅」・「中央本線 金山総合駅」 各駅より市バスにて 栄 21・神宮 12・金山 19 系統「中京 病院」下車（徒歩 1 分）

□ 病院の特徴

2014 年 4 月より「独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院（JCHO 中京病院）」として新たにスタートした当院（旧社会保険中京病院）は名古屋市中区に位置する 31 診療科 661 床、医師数約 200 名の総合病院です。救命救急センターを設置するほか、ICU、救命 ICU、NICCU 等の高機能病床及び熱傷センター、脳卒中センター、がん診療センターなどの診療組織を持ち、平均在院日数 11 日台の急性期医療を展開しています。また、2006 年には地域医療支援病院に 2007 年には地域がん診療連携拠点病院に指定され、名古屋を代表する大規模総合病院の一つとして名古屋市南部の中核病院の役割を担っています。

□ 研修プログラムの特徴 【眼科】

JCHO 中京病院眼科は、日本眼科学会の眼科専門医が取得できる眼科専門研修基幹施設です。眼科専門医を取得するためには、4 年以上の眼科臨床研修のうち初めの 2 年の間に 1 年以上の研修を眼科専門研修基幹施設にて研修することが必要です。多くの症例を経験することで即戦力のある専門医を育成するとともに、臨床研究にも力を入れており毎年多くの学会発表や論文投稿を行なっております。国内外より留学生を受け入れ、海外留学経験のある医師も在籍しており海外留学も夢ではありません。

【研修目標】

眼科専門医の取得を目的とし、眼科医としての一般的な知識、基本的な診察手技および処置の習得、手術適応の判断などの習得を行います。

その上で、専門分野である眼科 6 領域（角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器）の各専門外来にて、専門医の指導のもと最新かつ高度な診療について学びます。将来専門としたい分野においては、より専門的な診察および治療を指導医と共に学びます。

【研修期間】4 年

【研修スケジュール】

初めの 1 年間は、中京病院にて診察技術、手術手技の基本を習得します。2 年目以降は、中京病院あるいは専門連携施設にて研修します。週に 1-2 日程度、関連施設にて眼科診療を行い地域医療に貢献しながら臨床能力を伸ばします。また、中京病院では週 1 回の勉強会とカンファレンスがあり、症例検討や研修の進捗状況の確認などを行っています。月に 2 回、関連施設も含めた合同勉強会を行い、学会発表の予演会や学会報告、分野ごとの教育講演を行なっています。

< 実際の手術指導 >

< 豚眼での白内障手術練習 >



□ 主な連携施設

●岐阜赤十字病院（岐阜県）、飯田市立病院（長野県）、JHCO 可児とうのう病院（岐阜県）、総合青山病院（愛知県豊川市）、浅間南麓こもろ医療センター（長野県）、大雄会第一病院総合（愛知県一宮市）

専門研修連携施設は、日本眼科学会指導医もしくはそれに準ずる指導医が在籍する地域の中核病院であり、それぞれの特徴を活かした眼科研修を行い、日本眼科学会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験することができます。

□ メッセージ

指導医（眼科医長 松田泰輔）

網膜、緑内障、角膜、斜視、眼形成など各分野の専門医が多数在籍し、大学病院以上の多様な症例を経験することが可能です。また、毎日手術を施行しており、網膜剥離などの緊急手術も多数施行しています。特に内視鏡併用硝子体手術は当院の強みです。顕微鏡と併用することで、低侵襲な手術が可能となり、高い網膜復位率も得られています。この内視鏡手術を学べる施設は日本全国、海外でも数少なく、当院はその代表的施設です。内視鏡以外にも先端機器を多数取り入れています。また、現代の眼科医療は非常に高度化、細分化されています。重症患者さんのなかには、網膜、緑内障、角膜疾患を同時に合併するような複雑な病態の方もいます。当科では各分野間の連携もスムーズなため、複数の眼疾患を有する患者さんの治療も経験できます。眼科医になった後、網膜、緑内障など、どの専門分野に進もうか迷ってしまうという研修医のみなさんも多いと思いますが、いろんな治療、手術を見ることで、自分のやりたいことが見つかると思います。ぜひ見学にきてください！



□ 募集要項

・採用予定人数	2 人
・給与／月額	年収約 600 万円
・当直回数／月	週 2 回程度 眼科時間外待機を担当
・当直料／回	8 月は名古屋市の眼科二次救急当番病院になるためこの期間に限り眼科当直あり（2022 年度現在）
・その他	
・応募連絡先	担当者 樋口 直哉 電話番号 052-691-7151 E メール saiyo@chukyo.jcho.go.jp